



北っ子だより

第 4 号

令和3年7月20日発行
吉野町立吉野北小学校
校長 吉中 久実

□「新型コロナウイルス感染症」の拡大防止に向けた様々な取組みに対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。保護者の皆様の子どもたちへの日頃からの健康管理や感染予防対策等、ご協力のおかげで新型コロナウイルス感染症に関わる臨時休校措置等、大きな混乱もなく無事1学期を終えることができました。7月に入っても、県内各地の小中学校や高等学校の中には、感染拡大防止のため、臨時休校措置をとる学校が多数あります。子どもたちの感染経路として家庭内感染が大きな要因の一つとされています。保護者の皆様、毎月発行の「ほけんだより」並びに【5月19日配布：「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止のために（ご協力をお願い）】をご一読いただき、引き続きご家族の健康に留意ください。これまで同様ご理解とご協力をお願いします。

□残念ながら新型コロナウイルス感染症に関わっては、感染者・濃厚接触者や関係者等がいわれのない誹謗中傷や差別的な対応によって心を痛められる事例が全国各地より報告されています。新型コロナウイルス感染症への罹患は誰にでも生じうるものであり、感染した本人を責めることは許されません。感染者やその家族、勤務先等に対するそのような不適切な対応は、体調不良等の受診の遅れや検査回避などにもつながり、結果として感染防止策に支障を生じかねません。ウイルスから身を守るためであっても、感染予防として正しい行動かどうか、他の人の尊厳を傷つけていないかを考え判断することが大切です。幸いにも本校の子どもたちは保護者の皆さんや教員の話しを理解し、正しい人権意識を持ち合わせています。引き続き、ご理解ご協力をお願いします。

□国の施策の一環として、吉野町でも夏期休業中に中学生対象のワクチン接種（希望制）が行われます。合わせて本日北小学校の子どもたちにも「防ごう：ワクチン接種に関する差別やいじめ」の文書が県教育委員会より配布されました。ご家庭でも「ワクチン接種は強制できないもの。」「その人の判断を尊重すべきこと。」等、人権的配慮についてお話してください。

2 学期の行事について

これまでとは違う形態で水泳学習を実施することができました。コロナ禍の影響で様々な制限を加えながらも保護者の皆様のご協力のおかげで1年ぶりに実施し無事終えることができました。子どもたちはこれからの人生で、様々な場面で水と関わっていきます。その意味でも、水に入ることにより実感する、水中での抵抗力の強さや、不自由さ、怖さ、息苦しさ等経験することができました。もちろん楽しさや、泳いだ後の爽快感を味わった子どももたくさんいます。夏休み、水難事故等暗いニュースが毎年のように流れます。どうか水の事故はもちろん、交通事故、不審者被害等、にも留意していただき楽しい夏休みをご家族でお過ごしください。オリンピックも始まります。子どもたちが成人した後も、それぞれが語り継げる、語り継ぎたくなるオリンピックになればいいと思います。

□運動会：9月25日（土）わかばこども園と合同開催で実施します。町内園小中と歩調を合わせながら、本校PTA本部役員の皆さんと相談させてもらい詳細を決定していきます。

□修学旅行：10月17・18日和歌山方面で実施します。詳細は事前説明会でお知らせします。

□野外活動（5年生）：10月7日（木）宮滝野外学校で実施します。宿泊については状況や活動内容を見極め判断します。詳細は事前説明会でお知らせします。

ボランティアのみなさん、ありがとうございます！③

今回はこれまでご紹介した「見守り活動」「草刈りボランティア」に引き続き「読み聞かせボランティア」について紹介します。

分野：「読み聞かせ」 登録者数：11名

毎月、業前の時間や授業の一時間を使って読み聞かせをしていただいています。低学年、中学年、高学年の3会場に分かれ、発達段階に応じた題材のお話を聞かせていただきます。絵本の読み聞かせはもちろん、紙芝居、人形劇等、様々な工夫をこらした道具で楽しい時間を過ごさせていただいています。

7月の低学年読み聞かせ会では、お化けのお話をしてくださいました。怖いような、楽しいようなわくわくするような歌を歌いながら、進められました。前に登場するお化けがブラックライトで不気味に光る仕掛けもあり、子どもたちはびっくりしながらも大変楽しい時間を過ごすことができました。

ボランティアの皆さんは、毎月、発達段階に応じて3パターンのお話を準備してくださっています。毎回毎回、ボランティアさん自身が楽しい笑顔でお話してくださいますので、子どもたちも毎回明るい笑顔で参加しています。現在は「カンブリアさん」として活動されていて、結成21年目になるそうです。中荘地区で活動されていた「きらきらさん」や、中竜門の「なないろさん」、上市の「ひよこざさん」、育児サークル活動でのお話の会等、地域に根ざし活動されていた様々な団体さんの活動を受け継ぎながら現在も活躍されているそうです。学校やこども園だけでなく、お年寄りがおられる施設にも訪問活動をされているそうです。

コロナ禍の影響で、これまでとは違う会場形態や、ボランティアさん自身の健康観察等、感染予防対策に快くご協力をいただいた上で訪問していただいています。本当にありがたいことです。

※次回は図書室の整理や楽しい展示をしていただいている「図書ボランティア」の皆さんの活動を紹介します。



学校生活より

□人権講話「ゲーム・スマホについて」

リモートで実施しました。多目的室から藤本先生と亀山先生が放送し、各学年教室で視聴しました。大きく2つの問題を子どもたちに投げかけ、各学級で年齢に応じて話し合いました。

①「ネットゲームに夢中になると」

- ・やめられなくなる ・寝る時刻がどんどん遅くなる ・朝、おきられない
- ・ぼーとする ・じっくり考える力がなくなる

②「ネット社会の歩き方～熱くなりすぎると～」

興奮してついつい「何、やっとなねん」「出て行け」「お前、入ってくるな」「しねしねしね」「よっしゃころした」等、ゲームの中で使われていませんか？

「自分を守る」「友だちを大切にする」という、みんなの人権を守るために、スマホやゲームの仕方について話し合いました。

※通常授業はもちろん、今回の人権講話や交通安全教室、児童集会、児童朝会等、タブレット端末を使用してリモートで実施することも多くあります。

□人権講話でも使用しましたが国の施策 GIGA スクール構想（一人一台 PC 端末）でタブレットを一人一台吉野町より配備していただいています。デジタル庁よりアンケート（保護者・児童生徒）が届いています。本配布しましたのでご協力いただける方のみ配布文書の要領で回答をお願いします。氏名・学校名等個人情報不要です。デジタル庁へ直送となります。